

みなみ

minami

2018年 春号

発行：独立行政法人国立病院機構
熊本南病院
 熊本県宇城市松橋町豊福2338



新年度のご挨拶

熊本南病院 院長 金光敬一郎 (外科)



風薫る5月、新入職員が職場、病棟に慣れてようやく病院の動きについていける頃になりました。病院の坂道にはツツジが咲き乱れています。もう夏も近づくころになり、新年度のご挨拶が遅れて大変申し訳ございません。震災から2年が経過し、ますます熊本南病院も診療機能・スタッフを充実させ、地域に貢献することに邁進しております。

現代では医療の世界も政治や経済の社会と同様に情報の迅速な伝達、正確な管理が求められております。正しい医療情報で迅速で適切な診療が今の医療界では当然となっています。決してフェイクニュースなどのような誤った情報に惑わされてはいけません。正しい倫理観で成り立つのが医療と思われまふ。人と人との関わりが医療現場では必ず生まれます。心のない医療は成り立たないと思ひます。この春、熊本南病院に就職し、新しい医療人として出発した新人医療スタッフは、懸命に勉強を重ね、患者さまと関わっていきます。未熟なところは多々ありますが、良い人間性を磨いています。病院も人と同様に新しいものを取り入れ、患者さまのためにより良い医療につなげていきます。この夏からは電子カルテを稼働させる予定です。病院自体もこのシステムにまだ不慣れですが、早く練熟して患者さまのためにより良い医療を展開したいと思ひます。その準備の段階でご迷惑をお掛けしないかと心配もしますが、今後のサービス向上を考え職員一同で取り組んでおりますので、何卒ご理解のほどよろしくお祈ひします。また健康教室なども積極的に行っておりますので、お目にかかれば気軽に声をかけてください。地元のための熊本南病院として今年度も頑張りますのでよろしくお祈ひします。



副院長

長倉 祥一（血液内科）

平成30年度も始まって一月が経ちました。今年は診療報酬ダブル改定の年であったために体制をどう取っていくか新年度が始まる前からかなり議論を交わされたこととあります。熊本南病院でも様々な議論を行ってきましたが、これまでやってきたことをさらに充実させるよう頑張っていくという結論に至りました。具体的には、神経難病拠点病院としてパーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋萎縮性側索硬化症等の神経難病を中心に診療をしていきますが、発症の時間がはっきりしない脳梗塞は積極的にみていきたいと思えます。結核の最終拠点病院としての役割を果たすだけでなく、呼吸器疾患センターとしてさらに地域に貢献していきたいと思えます。がん診療連携拠点病院として緩和ケア病棟開設後は当院に診療科のない疾患も多く紹介していただきました。地元で最期を過ごしたいと希望される患者さまに療養の場を与えられたと思えます。血液悪性腫瘍の中でも多発性骨髄腫や骨髄異形成症候群などは高齢者に多く、緩徐に進行するため積極的な根治は目指さず、穏やかに経過を地元でしっかりみていくことが望まれます。昨年10月には総合診療科も開設でき、どこに紹介したらいいのかわからない患者さんも気軽に紹介いただいております。様々なことを今後はホームページで発信していきたいと思えます。今後も高齢者医療を中心に熊本南病院は地域に密着した医療を展開していきたいと思えますのでよろしくお願いいたします。



事務部長

中尾 眞一

みなさま、こんにちは。事務部長の中尾と申します。平成30年度を迎えひと言ご挨拶申し上げます。

地域の先生方には日頃より大変お世話になり、誠にありがとうございます。

平成30年度は医療と介護の同時改定で幕を開け、また、地域医療構想（2025年）においては、当院が担う役割としまして、来たるべき超高齢社会に対応できるよう、同一医療圏において他病院との機能分化を進めるとともに、専門医療（診療3分野：神経難病、がん診療、呼吸器疾患）を強化する一方、複数領域の疾患や合併症への対応、退院後の在宅移行を積極的に推進するとともに在宅医療との連携強化を図ることが必要と考えておる次第です。今後、地域の先生方には何かとお世話になるかと存じますが、ご高配を賜りますようよろしくお願いいたします。

ここで、直近における当院のイベントについてご案内させていただきます。

来たる6月30日（土）14時から、宇城市小川総合文化センター：ラポートに於きまして、市民公開講座「2018うき緩和ケアフォーラム～地域で支える緩和ケア」を開催いたします。

内容としましては、開演前の14時から医療相談コーナー、引き続き15時15分に開演し、特別講演、パネルディスカッションの2部構成となっております。地域の方々の多数のお越しを心よりお待ちしております。





看護部長

木下 日出美

フレッシュな顔ぶれを迎え新年度がスタートしました。

看護部は、質の高い看護を実践するために、一昨年度は「看護をわかる」、昨年度は「看護を考える」をテーマに取り組んできました。今年度は、更に将来に向けて成熟した看護へと形づけていけるよう「看護をつくる」をテーマに掲げました。

2025年に向けて医療・介護需要が急増することが予測されています。そのような背景の中、地域包括ケアシステムを効果的に機能させ、病院から地域・在宅へ、スムーズな移行ができるような支援が必要です。切れ目ないケアやサービスが提供されるために、看護職がチームのキーパーソンとして、地域という舞台上で看護の力をいかに発揮するかが重要になります。だからこそ、看護部の理念を認識し、つねに病める人に気持ちを傾け、丁寧に療養上の世話をし、その人が生きてきた歴史・環境や価値観を大切に、生きる力を支えていきたいと思えます。そのためには、看護職員一人ひとりがさらに知識を積み重ねてそれぞれの技術に熟練するとともに、患者さんへの思いやりの心を常に持ち続け、「看護をつくる」ことに力を注いでいきたいと思えます。

今を懸命に生きる患者さんやご家族に寄り添い、皆さんに認められる看護ができる組織でありたいと思えます。日々の積み重ねによって生まれる確かな時間を大切に、「自分らしく生きる」を支えたいと、そしてよりよい地域医療への貢献を目指して、更に一步踏み出していこうと看護職員一同思っております。

今年度も、どうぞ宜しくお願いいたします。



薬剤科長

澤田 誠一（薬剤科）

熊本地震から2年、青葉若葉の輝きに満ちた季節、いかがお過ごしでしょうか。

この紙面を借りまして皆様が、今年1年を平穏に過ごせますようお祈り申し上げます。

さて、当薬剤科は、現在、薬剤師4名（男性2名、女性2名）と助手1名（女性）で業務を行っています。主な業務として、調剤業務、注射業務、薬剤管理指導業務、無菌製剤調製業務、治験管理業務、そして、感染、緩和、栄養、褥瘡の対策チーム活動に協力体制をとって活動しております。たとえば、当院で調製する抗がん剤は、調製手順及び手技、暴露汚染時の対処方法等を熟知し、薬学的な特性を十分に知った薬剤師が、すべて安全(※)キャビネット内で調製しています。これが、無菌製剤調製業務にあたります。また、抗がん剤の服薬指導にあたっては、がん指導認定薬剤師が1名在籍し、専門性の高い指導を行っています。

お薬でわからないこと、お聞きになりたいことがありましたら、遠慮なくお声をおかけ下さい。

※安全キャビネットとは、前面開口部からの流入気流により汚染エアロゾルの流出を防ぎ、HEPA フィルタで処理した一方向流の清浄空気をワークエリアに供給することで、作業空間をクリーンにし、排気はHEPA フィルタで処理後、キャビネット外に放出する機器のことです。

新任 Dr. 挨拶

神経内科医師 倉富 晶



4月の異動で半年ぶりに戻って参りました。当院の神経内科はパーキンソン病やALSなど難病疾患が多く、定期的なレスパイトケア入院や療養型病床で長期療養される患者さまが多いのが特徴です。今後とも患者・家族の気持ちに寄り添った医療を目指して参りますので、よろしくお願いいたします。

平成30年度 地域ケア連携研修会 年間計画

第3水曜日 15:30～17:00 (7月)

第3水曜日 18:30～20:00

目的

神経筋疾患、呼吸器疾患（結核含む）、がん診療に関すること、その他一般疾病に関して地域における関連機関等（保健所、行政機関、医療関係）との連携を図り医療環境及び生活支援の充実、在宅での医療支援の推進を図る。

研修スケジュール

	開催日	開催時間	研修テーマ(仮題)	場所	研修担当
第120回	4月18日(水)	18:30～20:00	がん研修	ウイングまつばせ	がん診療等 検討委員会 5病棟
第121回	5月16日(水)	18:30～20:00	くまもと心療病院院長 認知症認定看護師	ラポート	オレンジ チーム
市民講座 第122回	6月30日(土)	14:00～17:30	2018 うき緩和ケアフォーラム 聖心病院院長 木村哲也 先生 パネルディスカッション	ラポート	研修センター 緩和ケア病棟
第123回	7月18日(水)	15:30～17:00	新人看護師技術研修 【医療安全に関する基礎知識】	会議室	教育委員会
第124回	8月22日(水)	18:30～20:00	最新の褥瘡ケア 済生会熊本病院認定看護師	ラポート	褥瘡委員会 NST 委員会
第125回	9月26日(水)	13:30～20:00	在宅医療研修 谷田病院院長	ラポート	地域医療連携室
第126回	11月21日(水)	13:30～20:00	感染症研修	ラポート	ICT 委員会
第127回	12月19日(水)	13:30～20:00	神経難病研修	ラポート	1病棟
第128回	1月16日(水)	13:30～20:00	リハビリ研修	リハビリ室	リハビリ
第129回	2月20日(水)	18:30～20:00	生活習慣病研修	リハビリ室	3病棟ユニット
第130回	3月20日(水)	18:30～20:00	医療安全研修	リハビリ室	リスクマネー ジメント部会

※会場については、参加者の人数により変更することがございます。

研修会のご案内を1ヶ月前には送付いたしますのでご確認ください。

編集後記

新緑が目にも鮮やかな季節になりました。皆様いかがお過ごしですか。

今年は、急に暖かく（暑く）なり、身体が季節について行くのがやっとの状態です。

ゴールデンウィークに実家に帰省した際、5月にも関わらず“くわがた”を発見することが出来ました。それに比べ、我が家で数年飼っている“ヒラタクワガタ”は未だに姿も見せてくれません。

自然界は、少しの変化にも敏感に反応して、対応しているのかと思わされた日でした。

私も、周りの細微な変化に気付くような大きなアンテナだけは持っていたいと思いつけている今日この頃ですが、皆様は如何ですか。